

令和5年度 外郭団体 評価シート

団体名	静岡市環境公社	所管課	ごみ減量推進課
設立目的	静岡市及び関係諸団体との協働・連携に基づき環境事業を行うことにより、地域における環境施策の推進と環境保全を図り、もって良好な環境を形成し、市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。		
団体の役割	1 ごみ収集運搬の確実な実施 2 4R・環境保全活動への貢献 3 し尿くみ取り業務の継続と適正な浄化槽維持管理の推進 4 廃棄物処理施設の円滑な運営		

《経営計画書 取組状況》

1 団体の取組状況

(1) 団体における取組と結果

施策	評価指標	目標値	実績	備考
家庭ごみの収集運搬事業 (関係課：収集業務課・ごみ減量推進課)	家庭ごみ収集運搬業務の確実な実施	実施	実施	
	大規模災害を想定した収集運搬体制の構築	実施	実施	
1 団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】</p> <p>①必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し、確実に実施できている。</p> <p>②適宜に見直しを行い体制を確保している。</p> <p>【取組における課題】</p> <p>①家庭ごみ収集運搬業務に従事する職員の内、臨時職員約75%、65歳以上の職員が約52%を占めている。構成年齢の引き下げ及び正規職員と臨時職員の比率の改善が課題である。</p> <p>②重量のある廃棄物の処理、職員の年齢等による体力的な問題等があり、災害支援が長期化した場合の職員の確保が課題である。</p> <p>【課題に対し市に求めること】</p> <p>①人員確保が困難となっており、市のパートナーとして、継続して事業を担うために、正規職員と臨時職員との割合や年齢など、バランスのとれた職員構成が必要と考えています。市においては、課題を共有し、改善に向けたご指導と適正な委託費の確保をお願いしたい。</p>			
関係課意見	<p>【収集業務課意見】</p> <p>駿河区の可燃ごみについて安定した収集業務を実施できている。</p> <p>【ごみ減量推進課】</p> <p>業務継続計画の策定・随時見直しにより、大規模災害等に備えた体制確保ができている。</p>			

	項目	評価指標	目標値	実績	備考
2	公共施設の廃棄物等の収集運搬事業 (関係課：廃棄物処理課・下水道施設課)	公共施設から発生する廃棄物等の収集運搬の確実な実施	実施	実施	
	団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】 ①必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し、確実に実施できている。</p> <p>【取組における課題】 ①特になし。</p> <p>【課題に対し市に求めること】 ①特になし。</p>			
	関係課意見	<p>【廃棄物処理課意見】 廃棄物等の発生量と調整を取りながら、収集運搬を安定的かつ確実に実施している。</p> <p>【下水道施設課意見】 天蓋付き車両を使用するなど施設周辺の環境に配慮しているうえ、当課の要望に沿った配車ができている。</p>			
	項目	評価指標	目標値	実績	備考
4R・環境保全事業 (関係課：ごみ減量推進課・GX推進課・環境共生課)	一人1日当たりのごみ総排出量の減少	876g	841g		
	資源循環啓発施設の利用者満足度	95%以上	99.30%	沼上学習プラザ99.1% 西ヶ谷体験プラザ99.4%	
	海岸一斉清掃及び環境アドプトプログラムへの参加	4活動	4活動		
	放置自転車移送業務の確実な実施	実施	実施		

3	<p>団体意見</p>	<p>【目標の達成状況とその要因】</p> <p>①一人1日当たりのごみ総排出量の減少ができています。</p> <p>②沼上学習プラザでは、4R啓発や自然環境への意識を高めるための講座をはじめ、小学校やこども園等と連携した環境学習講座（出前講座の実施等）や小学校4年生を対象としたごみ減量啓発講座の開催により、利用者から目標値を超える満足度が得られた。</p> <p>また、西ヶ谷体験プラザでは、リサイクル材料を活用した吹きガラス等のものづくり体験、温泉施設でのサーマルリサイクルの体験、子ども服のリユースマーケット、しずもーる祭りの環境啓発イベントなどから、4Rの体験、実践を通じて環境意識の醸成を図り、利用者から目標値を超える満足度が得られた。</p> <p>③海岸一斉清掃及び市の「河川、自然、森林環境アドプトプログラム事業」に参画し、環境保全活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>④必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し、確実に実施できている。</p> <p>【取組における課題】</p> <p>②Withコロナ時代となった現状で、利用者拡大に向け、市民が安心して利用できる施設であることのPRや、市民が興味を抱く講座・イベントの開催が必要である。</p> <p>【課題に対し市に求めること】</p> <p>②利用者拡大に向けて、施設の認知度アップや講座・イベント開催の広報活動について、市の事業などにおいても引き続き積極的にお願いしたい。</p>
	<p>関係課意見</p>	<p>【ごみ減量推進課意見】</p> <p>接遇スキルアップのための研修実施、利用者満足度を高めるための各種イベント企画や運営改善などの利用者目線の運営が、利用者から高い評価に結びついている。</p> <p>【GX推進課意見】</p> <p>当該団体が実施する、毎年静岡市森林環境アドプト事業への寄附は、市内の森林整備事業、間伐材を活用した積み木の作成及びこども園への配布事業に寄与し、市域内の二酸化炭素排出削減に貢献している。</p> <p>【環境共生課意見】</p> <p>河川環境アドプトプログラムについては概ね四半期に1度活動し、河川環境の保全や河川環境に対する市民の意識の高揚に貢献している。</p>

項目	評価指標	目標値	実績	備考
し尿くみ取り事業 (関係課：廃棄物対策課・ごみ減量推進課)	し尿くみ取り業務の確実な実施	実施	実施	
	大規模災害を想定した業務体制の構築	実施	実施	
4 団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】</p> <p>①必要な人員配置、収集運搬車両及び資機材等を配備し、確実に実施できている。</p> <p>②適宜に見直しを行い体制を確保している。</p> <p>【取組における課題】</p> <p>①くみ取り業務が縮小傾向にある中で、市民の要請に対し安定したサービスを提供するため、業務に精通した人員の確保及び育成が課題となっている。</p> <p>②大規模災害時における避難所の仮設トイレ等のくみ取り業務については、今後、し尿くみ取り業務等の縮小が進むと、災害時に必要な人員、車両及び燃料の確保が課題となってくる。</p> <p>【課題に対し市に求めること】</p> <p>①②くみ取り業務が縮小傾向にある中で、市のパートナーとして継続して事業を担うためには、業務に精通した職員及び車両等の確保が必要と考えます。市においては、課題の共有をお願いしたい。</p>			
関係課意見	<p>【廃棄物対策課意見】</p> <p>区域内において確実なし尿の収集運搬を実施しており、市民へ安定的なサービスの提供ができている。今後も引き続き市と環境公社の連携強化を図り、災害時も含めた安定的かつ継続的な本市のし尿処理体制を構築するため、課題及び相互の役割等について、共有していく。</p> <p>【ごみ減量推進課意見】</p> <p>業務継続計画の策定・随時見直しにより、適切な運営体制が確保できている。</p>			

	項目	評価指標	目標値	実績	備考
5	浄化槽維持管理事業 (関係課：廃棄物対策課・農地整備課)	浄化槽の維持管理の確実な実施	実施	実施	
		浄化槽の維持管理業務に必要な資格者等の確保	3人	3人	
		浄化槽の維持管理業務に必要な研修への参加者数	16人	15人	
	団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】</p> <p>①必要な人員配置、資格者、車両及び資機材等を配備し、確実に実施できている。</p> <p>②必要な資格者の確保については、取得計画に基づき、新規取得を推進し、3人の職員に資格を取得させることができた。</p> <p>③業務に必要な講習への参加及び職場内研修によるスキルの向上に努めている。</p> <p>【取組における課題】</p> <p>①公共下水道への切替により、浄化槽維持管理業務の減少が見込まれているが、浄化槽対象区域内での新規契約者を確保するなど、さらなる経営基盤の強化が必要である。</p> <p>【課題に対し市に求めること】</p> <p>特になし。</p>			
関係課意見	<p>【廃棄物対策課意見】</p> <p>資格保有者の確保を促進するとともに、職員の育成にも努めており、安定した浄化槽維持管理事業を実施している。</p> <p>【農地整備課意見】</p> <p>富厚里地区農業集落排水処理施設の維持管理業務を適正に実施している。</p>				
6	項目	評価指標	目標値	実績	備考
	市廃棄物処理施設運転管理等事業 (関係課：廃棄物処理課)	運転管理等の確実な実施	実施	実施	
		運転業務に必要な資格者等の確保	3人	3人	
		運転業務に必要な研修への参加者数	2人	1人	
団体意見	<p>【目標の達成状況とその要因】</p> <p>①市施設の運転管理に精通した人材の配置、運搬車両及び資機材等を配備し、適正かつ確実に実施できている。</p> <p>②各施設に必要な資格者の確保については、取得計画に基づき、新規取得を推進し、3人の資格取得を確保している。</p> <p>③業務に必要な講習への参加及び職場内研修によるスキルの向上に努めている。</p> <p>【取組における課題】</p> <p>①市職員（再雇用者）から公社プロパー職員への確実な技術継承等の職員育成が必要。また、技術を継承できる職員の確保が課題である。</p> <p>【課題に対し市に求めること】</p> <p>特になし。</p>				
関係課意見	<p>【廃棄物処理課意見】</p> <p>市職員との連携を密にとりながら施設の適正な運転管理を実施し、継続して安定的な処理ができている。</p>				

(2) 取組全体の総括

外郭団体
<ul style="list-style-type: none"> ・各業務について、必要な人員配置、車両及び資機材等を配備し、確実に実施できた。 ・計画的に各業務遂行のための資格取得や研修を受講することができた。 ・正規職員と臨時職員との割合や年齢など、バランスのとれた職員構成が必要と考え、労務職（正規職員）の採用を創設した。
静岡市
各事業において、当初の目標が概ね達成されており、職員の適正配置及び人材育成の結果といえる。

2 団体の財務・人員の状況

(1) 収支状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	事業収入	1,031,608,992	1,153,598,757	
	事業外収入	9,816,860	9,011,451	
	その他		452,340	車両運搬具売却益・車両運搬具売却代
	合計	1,041,425,852	1,163,062,548	
支出	事業支出	1,019,584,426	1,095,067,735	
	事業外支出	9,502,568	9,304,270	
	その他	3,016,280	12,541,084	貸倒損失・投資有価証券評価額 法人税及び事業税・固定資産取得
	合計	1,032,103,274	1,116,913,089	
収支差		9,322,578	46,149,459	

(2) 正味財産（純資産）の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	経常収益	1,041,425,852	1,162,610,208	
	経常外収益	0	441,099	車両運搬具売却益
	その他			
	合計	1,041,425,852	1,163,051,307	
支出	経常費用	1,029,086,994	1,104,372,005	
	経常外費用	474,926	390,954	
	その他	71,000	71,000	
	合計	1,029,632,920	1,104,833,959	
収支差		11,792,932	58,217,348	

(3) 資産の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	備考（増減理由・内訳等）
資産	固定資産	500,752,781	491,214,312	
	流動資産	429,148,940	494,554,316	
	合計	929,901,721	985,768,628	
負債	固定負債	196,212,705	190,439,198	
	流動負債	132,816,712	136,239,778	
	合計	329,029,417	326,678,976	
正味財産	基本財産／資本金	260,000,000	260,000,000	
	剰余金等	340,872,304	399,089,652	
	合計	600,872,304	659,089,652	

(4) 職員数の推移

年度	種別	職員種別			合計	増減理由等
		市OB	プロパー	その他		
R4	常勤	23	47	40	110	
	非常勤				0	
	臨時	15		52	67	
	合計	38	47	92	177	
R5	常勤	26	46	55	127	
	非常勤				0	
	臨時	13		51	64	
	合計	39	46	106	191	
R6	常勤	24	52	48	124	
	非常勤				0	
	臨時	12		51	63	
	合計	36	52	99	187	

(5) 財政・人員体制の現状分析・課題

(収支) 収支に関しては、歳出抑制や受託料の増額等でプラスとなった。
 (財産・資産) 財産・資産に関してもプラスとなった。
 (人員体制) 人員の配置における人数は適正と考えられるが、正規職員と臨時職員との割合や年齢など、バランスのとれた職員構成とスキルを持った職員の育成が課題で、それに見合った委託料の確保が必要である。

(6) 分析結果や課題を踏まえた団体における財政・人員体制の見通しと今後の取組

・ここ数年は収支、財産・資産がプラスではあるが、継続して物品等の歳出削減に取り組み、エコアクション21を活用して光熱水費の削減に取り組んでいく。
 ・各受託事業について、物価高騰により経費がかさんでいる背景から、適正な受託料の確保に努める。
 ・人員体制については、労務職の採用により徐々に正規職員と臨時職員との割合や年齢など、バランスのとれた職員構成にしていく。

3 全体総括・評価

外郭団体

- ・各業務について、必要な人員配置、車両及び資機材等を配備し、確実に実施でき、資格取得や研修を受講することが計画的にできた。
- ・人員確保のため、雇用制度を見直し、新たに労務職（正規職員）の採用を創設した。
- ・収支・財産・資産に関してもプラスとなったが、継続して物品等の歳出削減や光熱水費の削減に取り組んでいく。

静岡市

各事務事業は、適正かつ確実に実施されており、その事業がもたらす公益的な価値から当該団体の本市のパートナーとしての役割を存分に発揮しているものと評価できる。

また、経営面においては、債務超過も無く、自己資本比率、流動比率等の財務指標も良好である。公益的事業の担い手としては、長期的に安定して本市の環境行政を補完・代替・支援する役割を担うことが求められる。当該団体の財務状況は本市のパートナーとして、問題のない状況にあり、これも事業の公益性を自覚し、業務効率の向上等の経営基盤の強化に取り組んでいる結果である。

4 市への要望・意見（外郭団体記載）

- ・各事業における業務内容を踏まえ、知識や経験を有する市退職者を再雇用し、必要な人材を確保しているため、今後も再雇用先として、当社の紹介をお願いしたい。
- ・家庭可燃ごみ収集運搬業務において、従事する職員の内、臨時職員の割合が約75%、65歳以上の職員が約52%となっていることから、令和5年度中に新たな労務職（正規職員）雇用制度を創設し、令和6年度からの採用を計画しているが、人員の確保は継続した問題となっています。市においては、課題を共有し、改善に向けたご指導と適正な委託費の確保をお願いしたい。

5 外郭団体への要望・意見（所管課記載）

新たに創設した労務職（正規職員）雇用制度による採用を計画的に実施し、家庭ごみ収集運搬業務はもとより、大規模災害を想定した廃棄物の収集運搬体制をより強固にしていきたい。

今後においても、各事業において本市との連携を密にするとともに、当該団体が掲げる課題解決を意識し、自主的・自律的な事業展開により、本市のパートナーとしてこれまで以上に市民の健康で文化的な生活の確保に寄与されたい。